

VS0108HA

日本語版 RS-232 操作ツールマニュアル

V1.0.061



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、VS0108HA 取り扱いの便宜を図るため、英語版 RS-232 操作ツールマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版 RS-232 操作ツールマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2015 年 11 月 10 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも関わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	1
ATEN ジャパン製品保証規定	2
製品についてのお問い合わせ	5
RS-232 操作ツールの操作方法	7
概要	7
始める前に	7
.NET Framework のインストール	7
RS-232 操作ツールのインストール	7
GUI メイン画面	12
Switch Port (ポート入切)	13
Read Info (情報の読込)	15
Reset (リセット)	16
EDID Mode (EDID モード)	17
RS-232 Baud Rate Setting (RS-232 ボーレート設定)	19
RS-232 Setting (RS-232 設定)	20
コマンドの確認メッセージ	21

RS-232 操作ツールの操作方法

概要

VS0108HA は双方向対応 RS-232 シリアルインターフェースを搭載しているため、ハイエンドコントローラー、PC やホームオートメーション/ホームシアターソフトウェアパッケージを通じてシステムの操作を行うことができます。RS-232 操作ツールは、PC からシリアル (RS-232) インターフェース接続を通じて VS0108HA に操作コマンドを送信するのに使用するアプリケーションです。VS0108HA 用 RS-232 シリアル操作は、Windows 搭載コンピューターでできます。このツールを使用するには、接続する PC 全てに最新の「.NET Framework」と「RS-232 操作ツール」という 2 つのプログラムをインストールしなければなりません。この操作手順の詳細は次章で説明します。

始める前に

.NET Framework のインストール

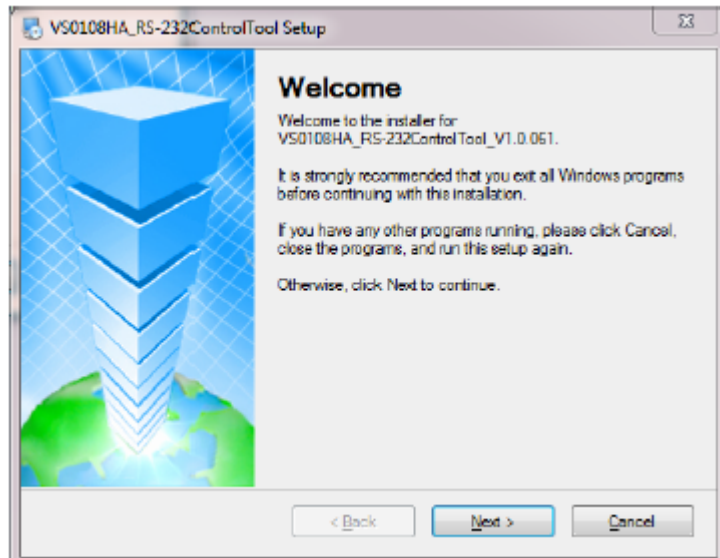
「.NET Framework」を PC にインストールするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 弊社の Web サイトまたは Microsoft 社のダウンロードセンターオンラインから実行ファイルをダウンロードし、このファイルを実行してください。
2. 画面の指示に従ってください。インストールアプレットが自動的に OS を検知して正しいドライバをインストールします。

RS-232 操作ツールのインストール

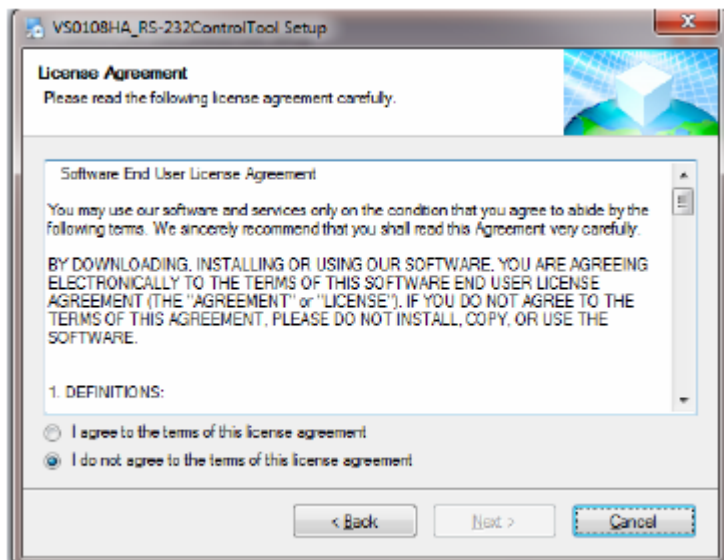
「RS-232 操作ツールアプリケーション」をインストールするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 弊社の Web サイト (www.atenjapan.jp) の製品ページから RS-232 操作ツールアプリケーションをダウンロードしてください。
2. 任意の場所にファイルを保存してください。
3. ファイルを実行して、RS-232 操作ツール GUI を開いてください。



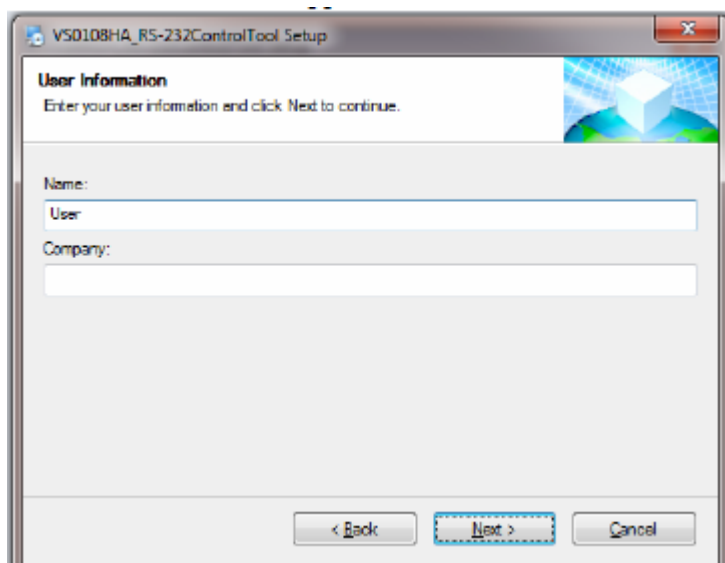
「Next」(次へ)をクリックしてください。

4. ライセンス同意書が表示されます。



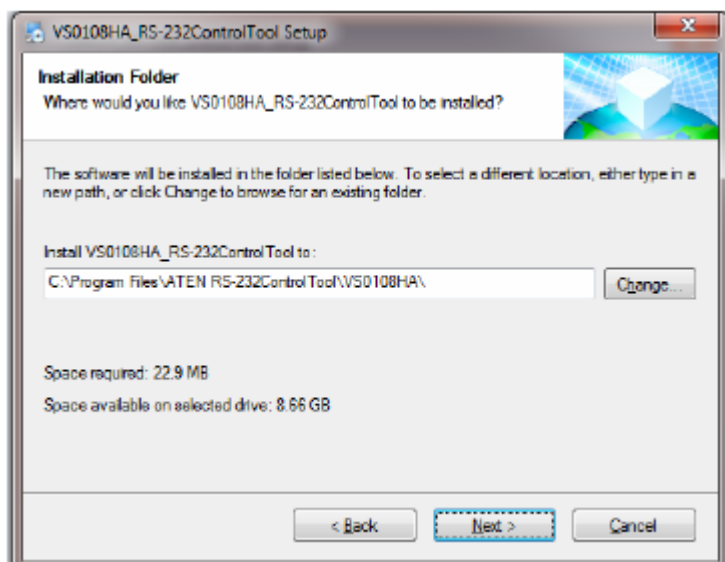
ライセンス同意書に同意する場合は、「I agree with the terms of this license agreement」(本ライセンス同意書の記載項目に同意する)を選択してから、「Next」(次へ)をクリックしてください。

5. ユーザー情報の画面が表示されます。

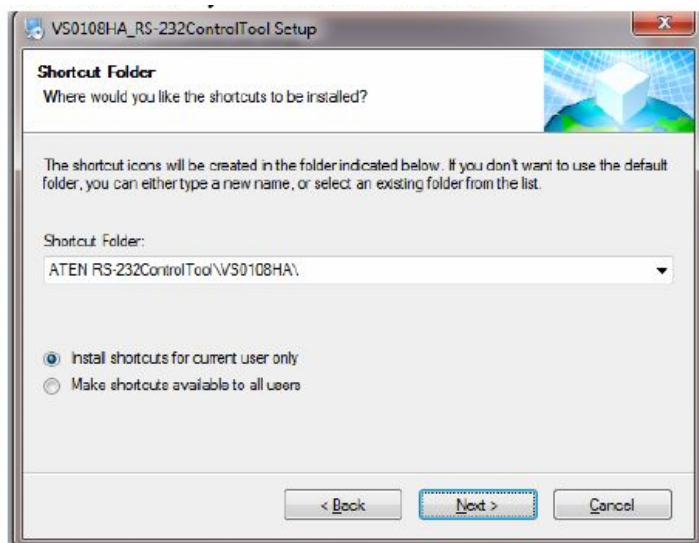


ユーザー名と会社名を入力した後に、「Next」(次へ)をクリックしてください。

6. インストールフォルダー画面が表示されたら、「Change」(変更)をクリックするか、デフォルト値を使用して、プログラムをインストールする場所を選択してください。それから、「Next」(次へ)をクリックしてください。

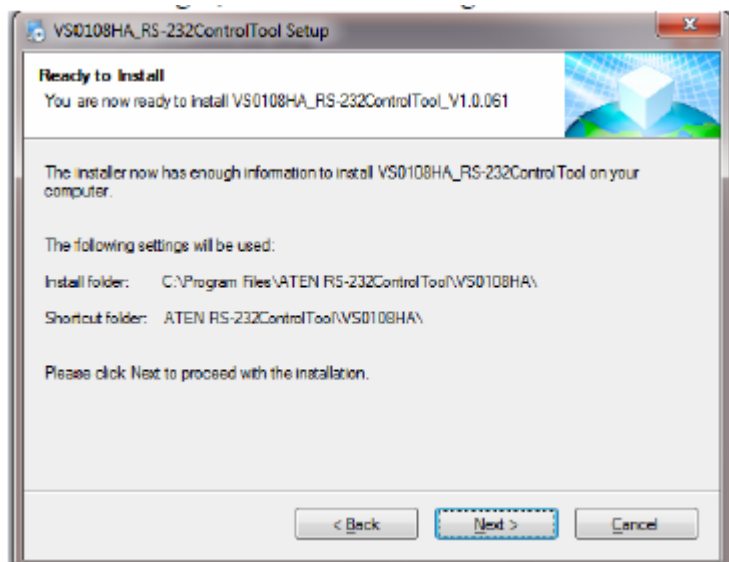


7. この画面で、またはドロップダウンメニューを使用して、ショートカットをインストールしたいフォルダーの場所を選択してください。

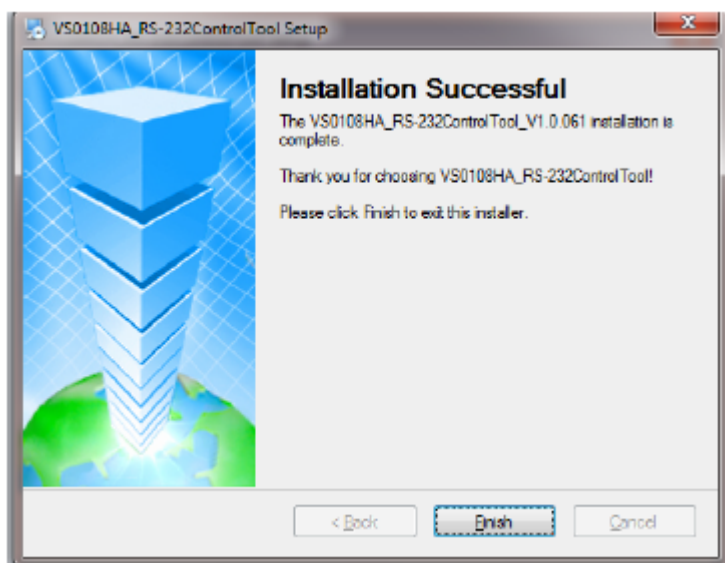


次に「Install shortcuts for current user only」(現在のユーザーに対してのみショートカットをインストールする)または「Make shortcuts available to all users」(ユーザー全員に対してショートカットが利用可能)のどちらかを選択してから「Next」(次へ)をクリックしてください。

8. インストールの準備完了の画面で、設定内容を確認し、もし変更が必要ならば、「Back」(戻る)をクリックしてください。「Next」(次へ)をクリックするとインストールを開始します。



9. インストールが完了すると、下図のような画面が表示されます。



「Finish」(完了)をクリックしてください。これで、RS-232 操作ツールがご使用いただけます。

GUI メイン画面

注意: このプログラムを使用する前に、このプログラムをインストールした PC と VM0404 本体をシリアル 9 ピンのストレートケーブルで接続し、電源アダプターを挿して主電源が入ってからお使いください。

RS-232 操作ツールは、1 つの画面から VS0108HA に RS-232 コマンドを送信することができる、とても便利かつ直感的なアプリケーションです。GUI を起動するには、RS-232 操作ツールのショートカットアイコンをクリックしてください。すると、インターフェースが表示され、デフォルトでは、下図のように「Switch Port」(ポート入切)画面が表示されます。



GUI の様々な構成要素については、次章で左側の各項目を上から順に説明します。

Switch Port (ポート入切)



「Switch Port」(ポート入切)画面では、下記操作を行って、各入力ポートの組み合わせを設定できます。「Switch Port」(ポート入切)画面では、下記の操作ができます。

- ◆ 「Output」(出力)ポートをクリックして選択してください。オプションは、ポート 1～8 および*(出力ポート全て)があります。
- ◆ 選択したディスプレイへの出力を ON または OFF にするには、「ON」または「OFF」をクリックしてください。
- ◆ コマンドを手動で入力するには、テキストボックスを使用してください。
- ◆ コマンドを送信するには、「SEND」をクリックしてください。

ポート入切コマンド

下記のように、テキストボックスにコマンドを入力してから「SEND」(送信)をクリックする、または [Enter]キーを入力することでも、コマンドが実行されます。

ポート入切コマンドの構文は、下記の通りです。

入切コマンド+出力コマンド+ポート番号+操作+{Enter}

1. 例えば、出力ポート番号 02 への出力を ON にするには、下記を入力します。

sw o02 on [Enter]

2. 全ての出力ポートへの出力を OFF にするには、下記を入力します。

sw o* off [Enter]

入切コマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
sw	入切コマンド。

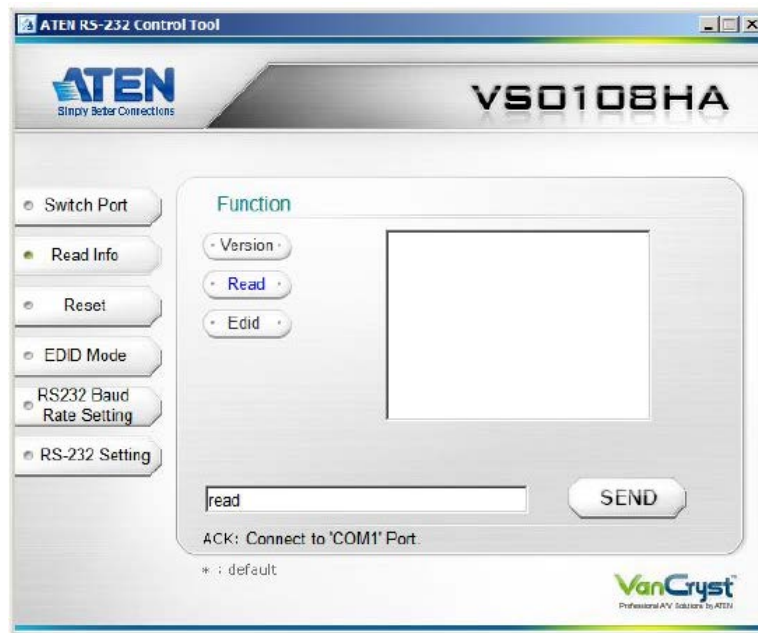
出力コマンド	説明
o	出力コマンド。

ポート番号	説明
yy	ポート 01~08 (デフォルトは 01)。
*	出力ポート全て

操作	説明
on	ディスプレイへの出力を ON にします。
off	ディスプレイへの出力を OFF にします。

- 注意:**
1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
 2. **ポート番号**コマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値が使用されます。

Read Info (情報の読込)



「Read Info」(情報の読込)画面では、下記の操作ができます。

- ◆ 現在のファームウェアバージョンを表示するには、「**Version**」をクリックしてください。
- ◆ 現在のビデオ/オーディオの状態を表示するには、「**Read**」をクリックしてください。
- ◆ デバイス 01 でどの EDID 設定が実行されているかを表示するには、「**EDID**」をクリックしてください。
- ◆ コマンドを送信するには、「**SEND**」をクリックしてください。

情報読込コマンド

デバイスの情報を参照するには、下記のコマンドを入力してください。

読込コマンド+操作 (version / read / EDID)+[Enter]

Reset (リセット)



「Reset」(リセット)画面では、下記の操作ができます。

- ◆ VS0108HA を工場出荷時のデフォルト設定にリセットするには、「Reset」を選択してください。
- ◆ コマンドを送信するには、「SEND」をクリックしてください。

リセットコマンド

リセットコマンドのコマンド構文は下記の通りです。

リセットコマンド+[Enter]

EDID Mode (EDID モード)



「EDID Mode」(EDID モード)画面では、下記の操作ができます。

- ◆ **Port1** をクリックすると、ポート 1 に接続されたディスプレイの EDID がビデオソースに送信されます*。
- ◆ **Auto(*)** をクリックすると、接続されたディスプレイ全ての EDID を読みとり、ディスプレイ全てに対して、共通で使用できる最適な解像度を使用します(デフォルト)。
- ◆ **Default** をクリックすると、VS0108HA 本体に内蔵されている EDID がビデオソースに送信されます。
- ◆ コマンドを送信するには、「**SEND**」をクリックしてください。

※ Port1 モードは、Port1 に接続されたディスプレイの EDID を基準として、映像信号を出力します。VS0108HA はその信号を複製し、Port2～8 へ出力を行います。そのため、複数の種類のディスプレイを組み合わせる場合、画面表示に不具合が発生することがございます。

EDID とは、ビデオソース/システムとの通信に使われるディスプレイの解像度情報を含むデータフォーマットのことで、下記のコマンドを使用して、VS0108HA がどの EDID モードを使用するかを設定することができます。

EDID コマンド+操作 (port1 /auto / default)+[Enter]

例えば、「port1 EDID 設定」を使用する場合は、下記を入力します。

edid port1 [Enter]

RS-232 Baud Rate Setting (RS-232 ボーレート設定)



「RS-232 Baud Rate Setting」(RS-232 ボーレート設定)画面で通信速度の変更ができます。

- ◆ VS0108HA で使用したい RS-232 ボーレートを選択してください。オプションは、9600、19200 (デフォルト)、38400 および 115200 です。
- ◆ コマンドを手動で入力するには、テキストボックスを使用してください。
- ◆ コマンドを送信するには、「SEND」をクリックしてください。

RS-232 ボーレート設定コマンド

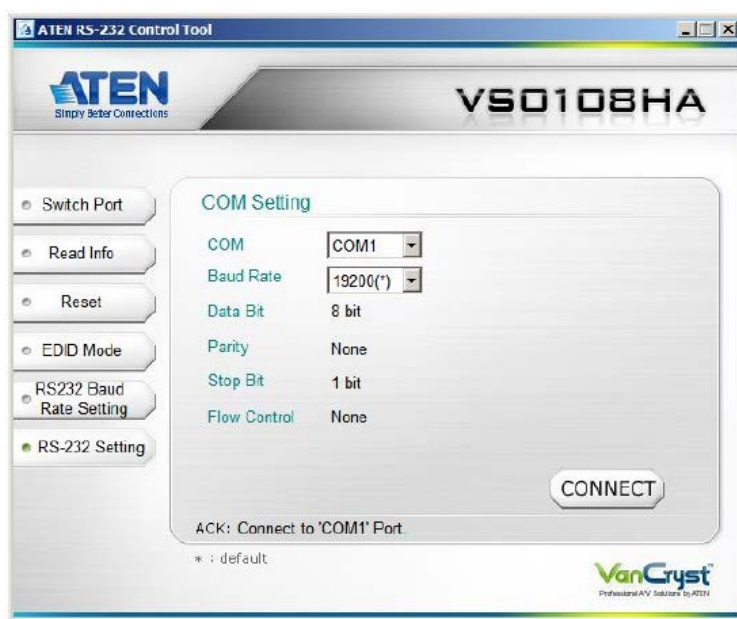
RS-232 ボーレート設定のコマンド構文は、下記の通りです。

ボーレートコマンド + 操作 + [Enter]

例えば、ボーレートを 38400 に設定するには、下記を入力してください。

baud 38400 [Enter]

RS-232 Setting (RS-232 設定)



コントローラーのシリアルポートは下表のように設定してください。

ボーレート	19200 (デフォルト。変更可)
データビット	8
パリティ	None
ストップビット	1
フロー制御	None

シリアルポートを選択するには、下記の操作を行ってください。

- ◆ ドロップダウンメニューからシリアルポートとボーレートを選択してから、「CONNECT」(接続)をクリックしてください。

ポートの設定が正常に完了した場合、下記のような確認メッセージが表示されます。

Opened port COM1 successfully

コマンドの確認メッセージ

コマンドを入力した後、コマンドラインの最後に結果確認のメッセージが下記のように表示されます。

- ◆ **Command OK** - コマンドは正確で、本製品で正常に実行されることを表します。
- ◆ **Command incorrect** - コマンドまたはパラメーターが無効であることを表します。